

道路行政セミナー2013年4月号 NO.055 2013年4月17日発行 ポイント

◆◆特集◆◆

★「道路法施行令及び道路整備特別措置法施行令の一部を改正する 政令による太陽光発電設備等及び津波避難施設の 道路占用許可対象物件への追加」について★

(国土交通省 道路局 路政課 道路利用調整室)

道路法施行令及び道路整備特別措置法施行令の一部を改正する政令（以下「改正政令」という。）が平成24年12月12日に公布され、平成25年4月1日から施行されました。改正政令においては、道路法施行令（昭和27年政令第479号。以下「令」という。）が改正され、新たな道路占用許可対象物件の追加等がされました。

これらの運用にあたり、令で規定しているもののほか、許可基準等を定めたので、制度創設に至る経緯に触れた上で、許可基準等の概要を説明します。

◆◆道路占用Q&A◆◆

★太陽光発電設備等の道路占用許可対象物件の追加について②★

(国土交通省 道路局 路政課 道路利用調整室)

太陽光発電設備等の道路占用許可対象物件の追加について解説する。

◆◆TOPICS◆◆

★花園町通り都市改変社会実験★

(松山市 都市整備部 都市政策課)

本市では、コンパクトで質の高い集約型都市を形成することとしています。中心市街地は戦災復興土地区画整理事業において広幅員の道路整備がなされていることを活用し、用地買収を行わず都市改変事業という手法を用い、自転車や歩行者空間の創出とともに、賑わいや、安全性を向上させ、将来の少子高齢社会に対応したまちを形成しようとするものです。本稿では、将来の集約型都市形成のための都市改変について、社会実験と地元合意について報告することとします。

◆◆地域における道路行政に関する取組み事例◆◆

★ふれあい四国路としてNPO 法人遍路とおもてなしネットワークと
南宇和高校生と一緒に接待木活動を始めました★
(国土交通省 四国地方整備局 道路部 道路管理課)

四国地方整備局管内の道路ボランティア活動「ふれあい四国路」として、「NPO 法人遍路とおもてなしネットワーク」と「南宇和高校」が、四国の国道で初めて接待木活動を行い、この活動を契機に、新たな交流が生まれたことを報告します。

.....

★「かながわのみちづくり計画」に基づく道路整備について★
(神奈川県 県土整備局 道路部 道路企画課)

「かながわのみちづくり計画」に基づく道路整備について報告します。

.....

★横須賀市の道路管理★
～道路防災点検要領を活用した道路法面の定期点検～
(神奈川県 横須賀市 土木部)

防災・減災を目的としたインフラ整備の必要性が高まるなか、増加する都市型集中豪雨を原因とする法面の崩落等の危険に対して、道路管理者として、より一層、適切な道路法面の維持管理が求められています。本稿では、横須賀市における法面の点検・管理手法等について紹介します。

◆◆編集後記◆◆

春の訪れとともに、味覚が活気づいてきました。

ふきのとう、たらの芽、こしあぶら……。ほろ苦さが魅力の山菜を楽しめる季節の到来です。

山野に自生し、中でも食べられる植物を山菜と呼びます。本来は栽培されないものであるがゆえに特有の苦みや香りが強く、苦手とする人も多いことでしょう。日本では古くから「春は苦味を盛れ」といわれ、山菜の有するその独特な風味が楽しまれてきました。

哺乳類をはじめとする動物は、冬の間は体温を逃がさないために、できるだけ身体を動かさず、体内に栄養を蓄えて冬を乗りきります。また、すぐにエネルギーとなるたんぱく質や脂質を含む肉を食すことが多くなり、そのため冬の間は脂肪がつきやすく、体重も増える傾向にあるようです。しかし、気温が暖かくなる春先になると、新陳代謝が活発になり、肝臓の働きも活性化され、体内に溜め込んだ脂肪や老廃物を排出して春の身体へと移りかわります。この身体の移り変わりをスムーズにしてくれる作用が、山菜特有の苦味成分にあります。

春の山菜は、寒さが厳しい季節に地中から芽を出し成長するため、発育に必要な栄養素がじっくり溜めこまれています。また、害虫などから身を守るため、苦味の素となる新陳代謝の活発化や消化を促進する働きを有するアルカロイド類や、抗酸化力の高いポリフェノール群を豊富にふくみます。この成分の摂取が、冬の間体内に溜まった脂肪や老廃物の排泄に効果的であり、新陳代謝が活発となる春に対応できる身体づくりがすすむようです。未確認ですが、冬眠から目が覚めたクマは、最初にふきのとうを食すとか。山菜は、春の活動には欠かせない食材ですね。

山菜のように苦味をもつ食べ物は、最初から美味しいと感じるわけではなく、味覚の経験によって美味しいと感じられるようになるものだと思います。このため、苦味は大人の味覚ともいわれ、食事を楽しむためのアクセントにもなりえます。春を迎える準備を手伝ってくれるだけではなく、美味しい自然の恵みに感謝です。

毎月掲載している地域の取組み事例では、豊かで美しい自然環境を保全し、自然の恵みを後世に継承するための道路整備を目指す施策の紹介が多くあるように感じます。道路を通じ、自然との共生・共存や、調和をはかることには、苦労も多いことと思います。この道路行政セミナーを通じ、その想いが少しでも多くの人に配信できたら嬉しいです。(U)